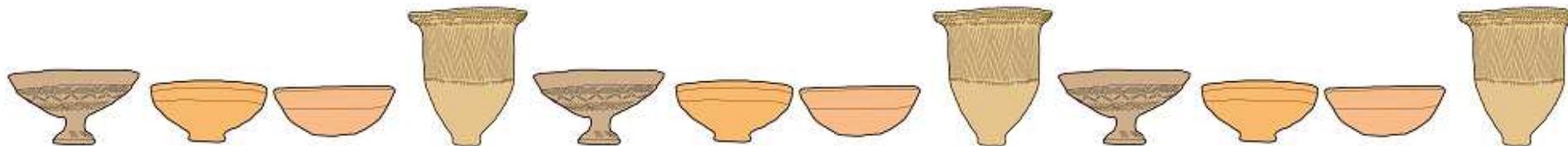


## 湧別町 郷土学習メニュー「郷土と土器」の実践例



博物館が現在おススメしている郷土学習は「土器」をテーマにしたものです。

湧別は北海道指定史跡「シブノツナイ竪穴住居跡」をはじめとし、55の遺跡（平成25年4月1日現在）が存在する折衷な郷です。博物館ではその遺跡から出土する土器に注目し、郷土の成り立ちと先史時代の工夫を学習するための学習プログラムを作りました。

**年間を通じて全て利用するもよし、好きなものだけを選んで利用するもよし、先生方の要望に合わせて対応いたします。**

博物館の行事予定状況によっては実施できない内容がある場合がありますが、興味を持った方はまずご連絡ください。

好い 喙縫 糝粉 糊 蠟 13. 砥 ♀ 慍 0

	題目（目的）	内容	関連科目	場所	時数 目安 （*1）	実施状況
1	開拓のくらしと土地を知る （郷土・ふるさとを知る）	土地に注目。湧別原野の開拓と、土地の性格に合わせた土地利用、人と土地の関わりを学ぶ。 「開拓・土地」、「食・調理」に注目する。	歴史 地学	ふるさと館 JRY	1	 
2	土地と地層を知る （郷土の特徴を知る）	開拓と土地についての知識を掘り下げる。 砂・砂利・粘土、様々なものが堆積して現在の土地ができていることを学ぶ。 湧別と粘土の関係に注目する。 （時期・地域によっては地質調査ができない場合があります。）	地学	野外各地	1	 

3	先史の暮らしと周辺環境 (先史の土地選び・景観を知る)	地形や動植物など自然環境に注目し、先史の人々の住環境を学ぶ。 竪穴式住居の跡を観察し、先史の建物と暮らしを考える。	歴史 地学 動植物学	シブノツ ナイ 竪穴 住居跡	1	 
4	郷土と粘土の関わりを知る (先史の暮らしと土器の活用を知る)	「調理・食」に注目し、粘土と人の関わり、活用について学ぶ。また、土器の機能と役割を学ぶ。 土器を観察し、郷土特有の文様を知る。	歴史 美術 化学	郷土館	1	 
5	土器づくり -機能性- (粘土を活用して土器を作る)	郷土資源である粘土の活用を実践する。 粘土の活用により、調理に欠かせない道具だった土器を製作する。 (上級者は地元産粘土を使用)	図工	学校 (郷土館・ふるさと館 JRY)	2	 
6	土器づくり -装飾性・社会性- (様々な道具を使って文様をつける)	郷土特有の文様を道具の工夫により再現する。 文様をつけることで、その必要性や持つ意味を考える。	図工 美術	学校 (郷土館・ふるさと館 JRY)	2	 
7	粘土の変化を知る (粘土の化学変化を体験)	材料が道具に変化する過程を体験する。 土器の化学変化で、軟らかかった粘土が硬くて水に溶けない器になることを知る。	化学	五鹿山 (学校)	4	 

8	郷土の土器と分類 (郷土の土器文様を考える)	土器につけられた文様の意味を考える。 郷土特有の文様を分類する目を養い、他地域の土器との比較を通じて関わりを考える。	社会 歴史 美術	郷土館 (学校)	1	
9	土器を使った昔の調理を知る (道具として土器を活用し、昔の食を考える)	土器で煮炊きを行い、道具として活用する。 郷土の古代食を知り、昔の暮らしについて考える。 (擦文・オホーツクスープ)	家庭科	学校・五鹿山	2	 <p data-bbox="1832 563 2072 592">(大学での実践例)</p> <p data-bbox="1491 611 2033 639">まだ町内学校での授業実践例はありません。</p>

注釈

( \* 1 ) 学芸員が一方的に話をする場合の必要時間です。児童が調べたりする時間は含んでいません。施設等への移動時間は含みません。